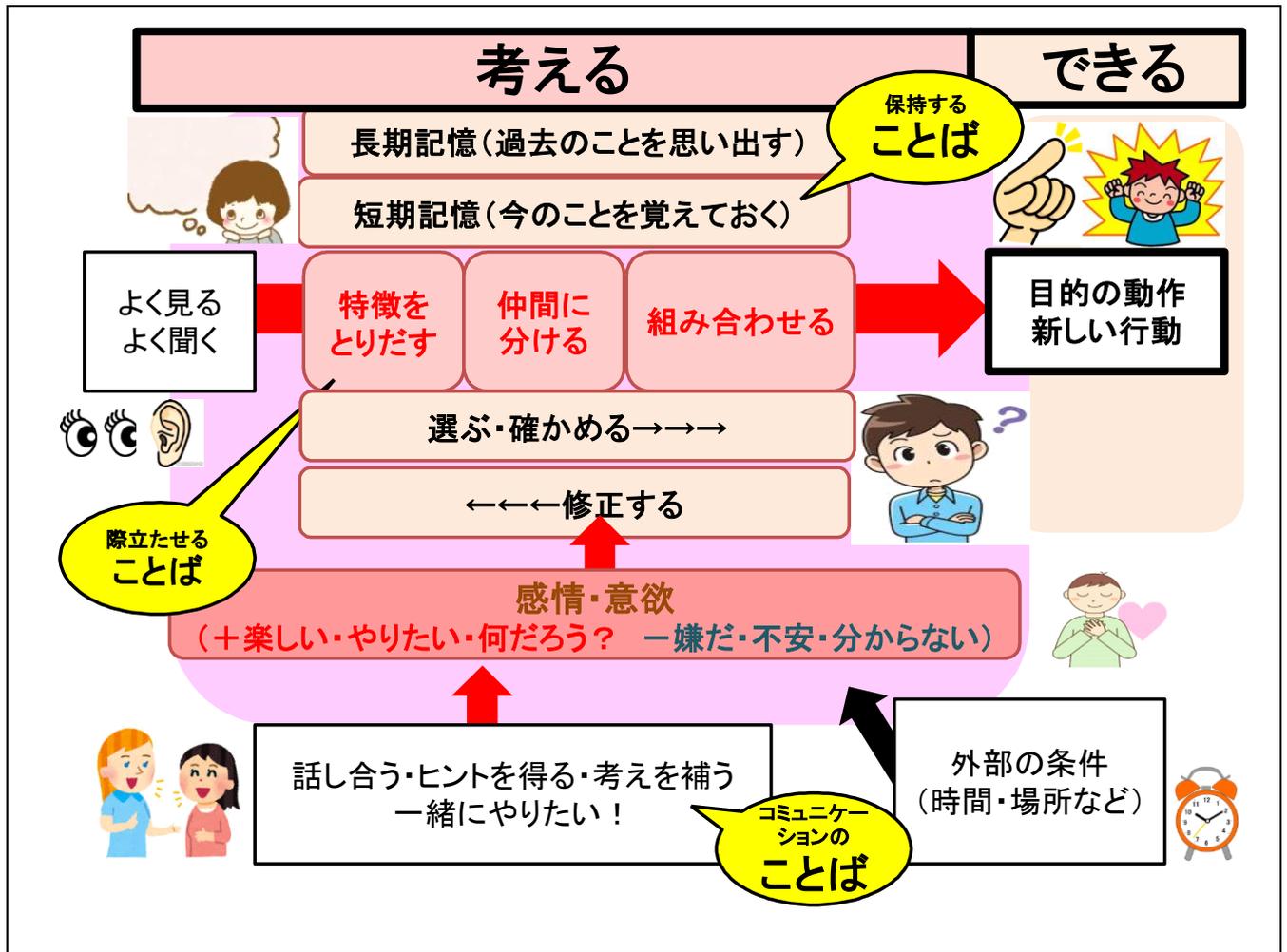
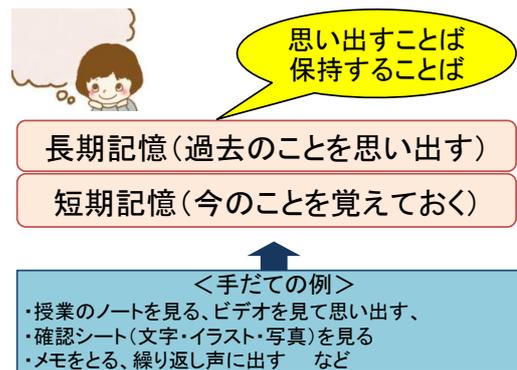
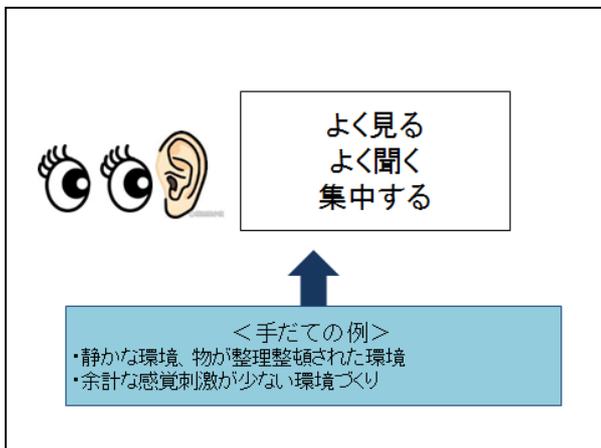


# 「考える・できる」とは？



児童生徒が自分で考えて、できるようになる過程とポイントについての全体図を上図に示した。大まかにこのような過程を経て、諸々の条件が相互に関連している。児童生徒は考え、迷いながらも、新しい行動ができるようになったり、スムーズにできるようになったりすると捉えている。

次に、それぞれの過程で教師が工夫できる「手だて」について例示した。

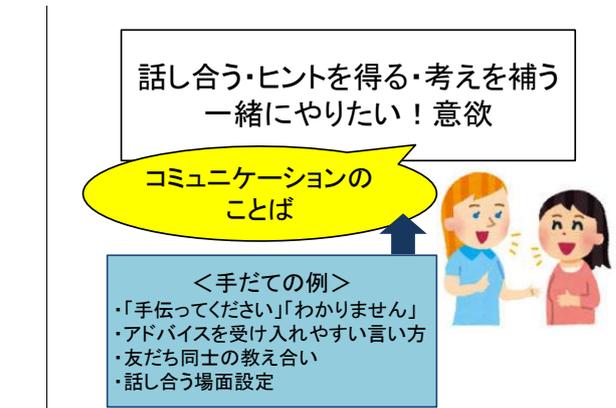


それぞれの過程において、「ことば」が重要になっていると考える。記憶に関する言葉としては「思い出すことば」や記憶を「保持することば」である。

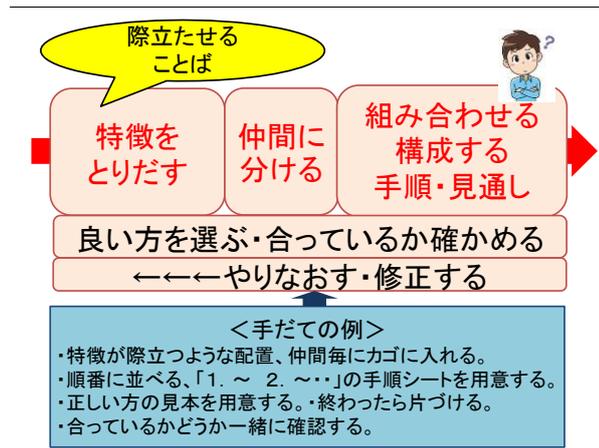


また、直面する問題を解決するために、特徴を取り出したり、分けたり、組み合わせたりする。その時にも「際立たせることば」が大事になる。

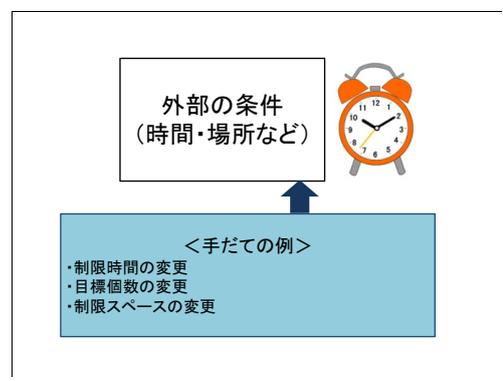
この過程を頭の中で行ったり、よく考えたい時や、教師が改めて教えたい時などは、外に取り出し、実物や図、絵、文章にして見えるようにしたり、また話し言葉で説明するなどして聞こえるようにして、整理し「考える」過程をサポートしている。



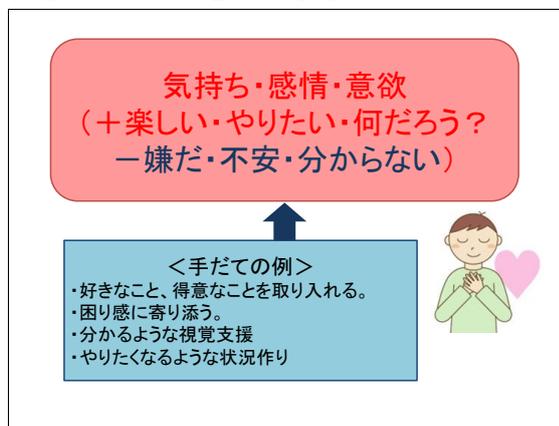
また、様々な困難に対して、一人で立ち向かうのではなく、周囲の人と一緒に、アドバイスやサポートをうまく受けながら乗り越えて欲しい。その際の「コミュニケーションのことば」が大事になる。



また、特に大事な点として「気持ち・感情・意欲」である。分かっている、今はできないということや、正しいことを言われると、逆にできないということなどはよくある。児童生徒の気持ちに寄り添い、意欲を引き出す工夫が必要になる。



さらに、児童生徒が今どのような条件下にあるのかを適切に把握することは重要である。また、学習課題を設定する際にも、外部の条件を整理した上で、条件を意図して変えながら手だてを講じるが必要になる。



そしていよいよ、新しい行動が実現するのだが、その際の身体の動きをよく理解することや、補助具の工夫などについて考えることも重要である。

一言に「考えることができる」「できるようになる」と言っても、例えば以上のような様々な過程や条件があり、それぞれ複雑に関連している。

8月の全体会では具体的なVTR場面をもとに、「考える・できる」について話し合った。その際のワークシートを次のページに紹介する。

# 「考える・できる」の例（中学部作業学習より）

## ＜例1＞

割り箸の先をテーブルにトン！とつけてしまった。



テーブルにつけてはだめだよ！

箸の先も触らないでください。



話し合う・ヒントを得る・考えを補う  
一緒にやりたい！意欲

コミュニケーションのことば



箸袋の上にトン！とつけた。

確立させることば

短期記憶(今のことを覚えておく)

組み合わせる  
構成する  
手順・見直し

←←←やりなおす・修正する



このように持ちます。

良い方を選ぶ・合っているか確かめる



テーブルにつけてはだめだよ！

話し合う・ヒントを得る・考えを補う  
一緒にやりたい！意欲

コミュニケーションのことば

外部の条件  
(時間・場所など)

よく見る  
よく聞く  
集中



正しく持って直接ふくろに入れた。

コミュニケーションのことば

保持することば

←←←やりなおす・修正する

目的の動作  
新しい行動

## <例2>

### 輪ゴムの箱を組み立てる

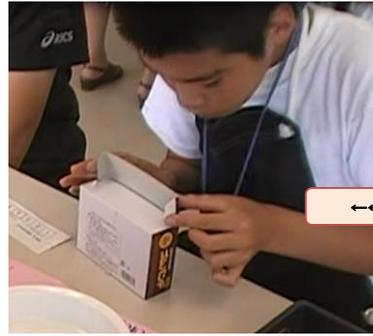


よく見る  
よく聞く  
集中

特徴を  
とりだす

組み合わせる  
構成する  
手順・見通し

### 「両手」で入れることに気づく

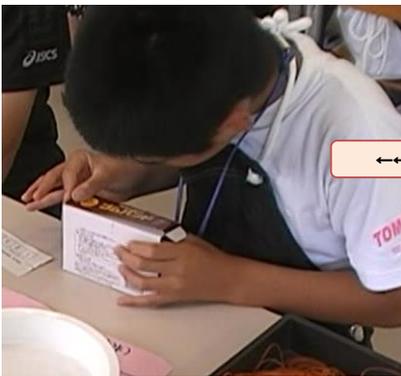


組み合わせる  
構成する  
手順・見通し

確立させる  
ことば

←←←やりなおす・修正する

### 片方が入らない・・・



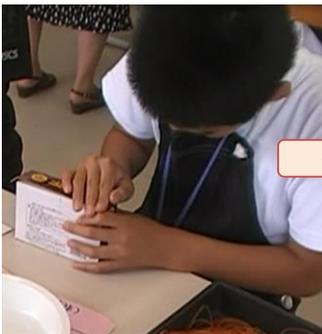
←←←やりなおす・修正する



←←←やりなおす・修正する

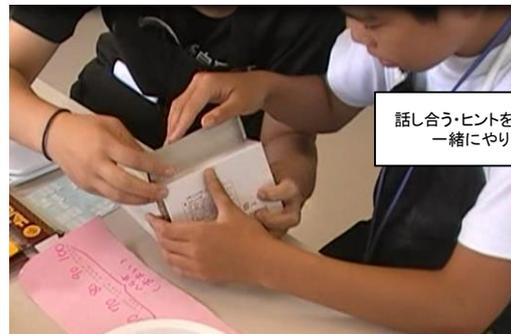
### でも、しっかりは入らない。

### 反対側が入らない・・・



←←←やりなおす・修正する

### 先生に相談する



話し合う・ヒントを得る・考えを補う  
一緒にやりたい！意欲

コミュニケーションの  
ことば

### やり方を教わり入れることができた。



話し合う・ヒントを得る・考えを補う  
一緒にやりたい！意欲

目的の動作  
新しい行動